

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-510290 (P2005-510290A)
 【公表日】平成 17 年 4 月 21 日 (2005.4.21)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-016
 【出願番号】特願 2003-546774 (P2003-546774)
 【国際特許分類】

A 6 1 C 7/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 C 7/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 9 月 6 日 (2005.9.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コンピュータがユーザに、叢生 / 間隔データを第 1 テーブルにすることを促すステップであって、該第 1 テーブルにされる該叢生 / 間隔データが、患者の顎の犬歯から正中線領域にのみ関連するものであるステップと、

該コンピュータがユーザに、叢生 / 間隔データを第 2 テーブルにすることを促すステップであって、該第 2 テーブルにされる該叢生 / 間隔データが、該患者の顎の第 2 大臼歯から正中線領域に関連し、該患者の顎の該犬歯から正中線領域に関連する該叢生 / 間隔データを含むものであるステップと、

該コンピュータがユーザに、正中線と大臼歯との関係を正中線チャートにすることを促すステップと、

該コンピュータが、第 1 及び第 2 テーブルに入力された叢生 / 間隔データを記録するステップと、

該コンピュータが、正中線チャートに入力された正中線と大臼歯との関係を記録するステップと、

を含む、歯列矯正に関連するコンピュータによって実施される方法。

【請求項 2】

該コンピュータが、該第 1 および第 2 テーブルに記入された該叢生 / 間隔データ、並びに該正中線チャートに入力された正中線と大臼歯との関係に基づいて歯列矯正治療を計画するステップと、

該コンピュータが、前記計画された歯列矯正治療に関連するデータを予測治療チャートに追加するステップと、

該コンピュータが、予測治療チャートに関連するデータを記録するステップと、
をさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

該コンピュータが、前記第 1 テーブルの前記叢生 / 間隔データを合計することにより第 1 総計をもたらし、該第 1 総計を第 1 初期不調和として該第 1 テーブルにするステップと、

該コンピュータが、前記第 2 テーブルの前記叢生 / 間隔データを合計することにより第 2 総計をもたらし、該第 2 総計を第 2 初期不調和として該第 2 テーブルにするステッ

ブと、

該コンピュータがユーザに、該第 1 および第 2 テーブルに他の生成された空間をることを促すステップと、

該コンピュータが、該第 1 合計と該他の生成された空間とを合計することにより第 3 総計をもたらし、該第 3 総計を第 1 残存不調和として該第 1 テーブルにするステップと

、

該コンピュータが、該第 2 合計と該他の生成された空間とを合計することにより第 4 総計をもたらし、該第 4 総計を第 2 残存不調和として該第 2 テーブルにするステップと

、

をさらに含む、請求項 1に記載の方法。

【請求項 4】

該コンピュータが、前記テーブルおよびチャートを表示することをさらに含む、請求項 1、2 又は 3 に記載の方法。